

平成30年度 政治経済（2単位）シラバス	学 年	2年(文理型)
	学 科	普通科

I 教科書

「高等学校 改訂版 政治・経済」：第一学習社

II 副教材

『最新図説 政経』：浜島書店

『ステップアップ 政治・経済』：第一学習社

III 学習の目標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

IV 評価の観点

評価の観点	内 容
関心・意欲・態度	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考えようとする。
思考・判断	現代の政治、経済、国際関係にかかわる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断する。
資料活用の技能・表現	現代の政治、経済、国際関係にかかわる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用するとともに、追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現する。
知識・理解	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。

V 授業計画

期	月	単 元	学習内容	
1	4	第1編 現代の政治 第1章民主政治の基本原則と日本国憲法 ①政治と法の機能 ②人権保障と法の支配 ③議会制民主主義と世界の政治体制 ④日本国憲法の基本原則 ⑤平和主義と自衛隊	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の本質を把握しながら、政治と私たちとの関わりについて理解する。 ・基本的人権が確立するまでの歩みを理解しながら、現代の政治の特質について考察する。 ・自由権と社会権の違いと人権保障の背景を理解し、民主主義についても考察する。 ・各国の状況をインターネットや書籍を利用して調査する。 ・民主主義のあり方について理解するとともに、現代政治の特質について把握する。 ・日本国憲法の成立過程を理解しながら、日本国憲法のもつ意味について考察する。また、三大原理についても理解する。 ・日本国憲法の成立過程を学習しながら、大日本帝国憲法と日本国憲法の違いを考察し、それぞれの憲法の本質について正確に把握する。 ・自衛隊・憲法改正問題など昨今の憲法に関するさまざまな論点について感心を深める。 	一学期中間範囲
	5～7	⑥基本的人権の保障と新しい人権 ⑦国会の組織と機能 ⑧内閣の機構と行政 ⑨裁判所の機能と司法制度 ⑩地方自治制度と住民の権利 ⑪政党政治と選挙制度 ⑫民主政治における世論の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の全体像にふれながら、平和や人権などの問題を考える。 ・基本的人権、新しい人権について、意欲的に理解を深め、その本質を把握する。 ・人権に関する判例を活用しながら、権利と義務などについて理解する。 ・人権を主張する際、時として「公共の福祉」が絡むことを理解する。 ・国会、内閣、裁判所などの政治機構にふれながら、主権者としての政治に対する関心を深める。 ・国会・内閣・裁判所の関係とそれぞれの役割について、意欲的に理解する。 ・日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方について、問題点も含め、幅広い視点から考察する。 	一学期期末範囲

期	月	単元	学習内容	
2	5 ~ 7	第2章現代の国際政治と日本 ①国際社会と国際法 ②国際連合の組織と役割 ③国際政治の動向 ④国際紛争と難民問題 ⑤軍備管理と軍縮 ⑥日本の外交と国際平和への役割	<ul style="list-style-type: none"> ・国際政治と国内政治の違いを理解する。また、先進国と発展途上国などのように、国家間に格差が生じていることを把握する。 ・冷戦終結後の国際社会の動向について理解する。 ・国際連合の役割を理解する。また、現実には国際連合はどのような問題を抱えているのかについても把握する。 ・冷戦終結後の世界が、冷戦時代と比べてどのように変化したのかについて、意欲的に理解を深める。 ・NGOが国際政治に与える影響について、関心を高める。 ・民族紛争などを例に、複雑な国際関係を幅広い視点から考察する。 ・国際平和のために、日本が貢献できることは何かについて、さまざまな視点で考察する。 ・国際平和に関する問題について、さまざまなメディアを利用して調査する。 	一学期期末範囲
	9	第2編 現代の経済 第1章 経済社会のしくみと特色 ①経済社会の発展 ②経済主体と経済活動 ③市場経済の機能と限界 ④経済成長と景気変動	<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義経済の特徴を、社会主義経済の特徴と比較し理解する。 ・経済の基本的な概念や経済理論を学習することによって、現代経済の特質について考える。 ・家計・企業・政府が互いにどのように関わりあいながら国民経済を構成しているのかを理解する。 ・経済成長率の推移、景気変動などの資料、経済政策に関する資料などを利用して、日本経済の動向を調査する。 	二学期中間範囲
	10	⑤物価の動き ⑥金融のしくみとはたらき ⑦財政のしくみとはたらき ⑧日本経済の歩み ⑨中小企業の地位と役割 ⑩農業の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市場の基本である「需要と供給との関係」について、正しく理解する。 ・独占、寡占状態の市場での消費者に対する影響と、その弊害を排除するための措置について理解する。 ・株式会社とはどのようなものであるか、所有と経営の両面から理解する。 ・金融機関をはじめ、日本経済が抱えている問題について認識する。 ・経済成長とともに人々の生活が豊かになる一方で、公害などの社会問題が発生したことを認識する。 ・財政の基本的なしくみや役割について理解する。 ・日本の財政の現状を理解し、経済活動のあり方と福祉の向上について考察する。 ・巨額の公債残高は大きな財政負担であることを理解し、財政政策及び金融政策の重要性を認識する。 ・大企業と中小企業の違いや日本経済において中小企業が果たしている役割について理解する。 ・日本の農業が直面している課題について正しく把握する。 	一学期期末範囲
	11	⑪消費者問題 ⑫高度情報社会の進展と課題 ⑬労働問題 ⑭社会保障制度の充実 ⑮環境保全と資源・エネルギー問題	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者問題の現状や消費者運動、さまざまな法制度を新聞記事などの資料を利用して調査する。 ・高度情報社会の長所と短所をもとに、課題と対応について考察する。 ・労働基本権と労働三法を正しく把握した上で、若年層・女性・中高年・障害者・外国人労働者などさまざまな視点で最近の労働問題を理解する。 ・日本の社会保障制度を体系的に捉えるとともに、現在の制度上の問題点と課題について考察する。 ・身の回りの具体的な事例をもとに、地球環境問題などの世界的な諸問題について考察する。 ・深刻化している地球規模の環境問題を直視し、どのように乗り越えるか考察する。 ・化石燃料・原子力発電・新エネルギーのそれぞれの違いとメリット・デメリットを理解する。 	

期	月	単元	学習内容	
2	12	第2章 国民経済と国際経済 ①国際経済のしくみ ②国際協調と国際経済機関の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・国際経済に関する基本的な概念や理論を理解しながら国際経済における日本が果たすべき役割について考察する。 ・国際収支の基本的な構成を理解し、経済摩擦の要因である不均衡が生じる原因について理解する。 ・為替相場の国際経済における重要性について認識する。 ・ヒト、モノ、カネの国際的な移動が、世界経済に与える影響について、関心を高める。 ・円高・円安が、自分の生活にどう影響するかについて関心をもつ。 ・GATTの歩みとWTOの役割について、理解する。 	学年末試験範囲
	1	③地域的経済統合 ④グローバル化する経済 ⑤南北問題と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバリゼーションと地域的経済統合について関心をもち、世界地図やインターネットなどを利用して具体的に考察する。 ・国際協調のために、どのような国際機関が存在するか、把握する。 ・貿易の自由化が経済に大きな影響を与え、それによって、地域的経済統合の動きなどがみられることを理解する。 ・南北問題の原因と解決策、日本の役割について考察する。 	
3	2	第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題 ①少子高齢社会と社会保障 ②地域社会の変貌と住民生活	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の日本が抱える課題を、政治と経済との関連に留意しながら、さまざまな角度（視点）から考え、望ましい解決のあり方を考える。 ・現実社会の諸課題は、政治と経済が深く結びついていることを理解する。 ・生活に関連する面を中心に関心を高め、意欲的に理解を深める態度を身につける。 ・対比する意見などをもとに、さまざまな意見・論調に積極的にふれる。 ・第1編・第2編の学習の成果の上に立って課題を追究する。 ・「スキルアップ」などをもとに、簡単なレポートを書いたり、ディベートなどを行ったりする。 ・具体的事例をもとに、それぞれの問題を多角的、多面的に追究し、望ましい解決方法を考察する。 ・政治と経済は密接に関連し、互いに影響を与えていることを理解する。 ・それぞれの課題には、さまざまな角度からの対応策があることを把握しながら、幅広い視点から考察することを身につける。 	
	3	第2章 国際社会の政治や経済の諸課題 ①人種・民族問題と地域紛争 ②国際社会における日本の立場と役割	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会における課題は複雑なものであり、そのため国際的な視点から追究しながら、日本の役割について考察する。 ・国際社会の課題は、政治・経済の枠をこえたものが多く、国際関係に大きな影響を与えることを認識する。 ・さまざまな観点から課題を追究する態度を身につけ、国際社会における日本の役割について考察する。 ・第1編・第2編の学習の成果の上に立って課題を追究する。 ・国際社会における諸課題を日本の立場や役割から考察する。 ・それぞれの課題に対して、国際社会における日本のとるべき立場を考えながら、プレゼンテーションなどをする。 ・国際社会における諸課題を考える際、国内だけでなく国際的な面から、政治や経済の面からも課題を追究する必要があることを認識する。 	